

～ 下記の研究を行います～

「マルチポア®による小児末梢静脈カテーテルの固定における
静脈炎発生の誘因と今後の課題」

【研究の目的】

当科では末梢静脈カテーテルの被覆材に透明フィルムを使用していますが、乳幼児の手背における被覆材は未滅菌のマルチポアを使用しています。しかし、マルチポア®は透明ではないため、外から刺入部を十分に観察することができないため、挿入部の異常の発見が遅れる可能性があります。また、粘着が喪失しやすくはがれやすいため、挿入部が十分に覆われず感染などのリスクが考えられます。そのため、今回現在の固定方法における静脈炎の誘因を抽出し、今後の課題を明らかにする必要があります。

【研究期間】 審査承認後～令和4年3月31日

【研究の方法】

観察期間：令和2年9月2日～令和3年2月28日

●対象となる患者さん

末梢静脈カテーテルが手背に留置され、マルチポアにて固定された方

●研究に用いる試料、情報の種類

- ・岐阜大学医学部附属病院看護情報システム(ナシスト)に登録された静脈炎に関する観察項目(末梢静脈カテーテル挿入部の発赤、末梢静脈カテーテル挿入部の腫脹、末梢静脈カテーテル挿入部の疼痛、末梢静脈カテーテル挿入部の漏れ、末梢静脈カテーテル挿入部の圧痛、末梢静脈カテーテル挿入部の硬結)を各勤務帯(3回/日)で経過記録に記録する。
- ・留置期間、シーネの有無、年齢、発熱、血管外漏出を起こしやすい点滴製剤の有無、末梢静脈カテーテル穿刺時の採血の有無、穿刺時の手洗い、手指消毒、穿刺部の消毒方法、マルチポア®の剥がれ、補強の有無、張替の有無を毎日記録用紙を用いて記録する。
- ・静脈炎を生じた場合、カルテに保存するため、本研究について説明し、同意をいただけた後に、刺入部の写真を撮らせていただきます。その際、顔や、個人が特定できるものは写らないようにします。

【研究への参加辞退をご希望の場合】

本研究に関して患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がございましたら以下の連絡先まで問い合わせてください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合にはデータ使用対象としないので、以下の連絡先まで申し出てください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への情報の使用をお断りになった場合にも、将来にわたって診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

【研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反】

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

【連絡先】

担当医師：岐阜大学医学部附属病院 西 4 階病棟看護師長 氏名：吉川 充花
住 所：岐阜県岐阜市柳戸 1 - 1
電 話：058-230-7410

【研究責任者】 岐阜大学医学部附属病院 西 4 階病棟看護師 氏名：上面 久美子